

現代の匠たち

～藝能と工藝の饗宴 2025～



第一部

オープニング「本イベント開催の趣旨と経緯」



室瀬和美
人間国宝 蒔絵



大倉源次郎
人間国宝 小鼓



近藤誠一
TAKUMI-Art du Japon
代表理事(元文化庁長官)

鼎談 テーマ「夢」



小野真龍
一般社団法人雅楽協会 代表理事
関西大学 客員教授

聞き手
×
近藤誠一



宮本芳彦
株式会社 宮本卯之助商店
代表取締役社長

第二部 公演

狂言
「因幡堂」

男 : 茂山七五三
女 : 茂山逸平
(後見: 鈴木実)



茂山七五三
狂言方大藏流 人間国宝

雅楽
「玉樹後庭花」

舞 : 女人舞楽原笙会
演奏: 伶楽舎



東野珠実
雅楽演奏家・作曲家

令和7年 **9月3日** **水** (開場18:00)
開演 18:30 - 終演 20:45

観世能楽堂 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階

全席指定 P席 15,000 / SS席 14,000円 / S席 13,000円 / A席 10,000円

開催に寄せて

世界はいま、ものごとは理念によってではなく、金と力の取引きで決めるというリアリズムに向かっています。われわれは古来こうした流れに襲われるたびに、常に理想をもってそれと戦い、より良い社会に向かって努力してきました。それを雄弁に伝えてくれるのが伝統藝能や伝統工芸です。その価値を伝えるために設立したこのシンポジウムは、今年で早や6回目となります。

公演のテーマは原則として毎年、宮中歌会始より拝借しており、今回は「夢」となります。冒頭のシンポジウムでは、本公演の発起人3名〈室瀬和美氏、大倉源次郎氏、近藤誠一〉による本イベント開催の趣旨と経緯の解説に続き、「夢」を主題にしたトークを小野真龍氏と宮本芳彦氏をお招きして進めます。

公演では、人間国宝の茂山七五三氏による「夢」にちなんだ狂言「因幡堂」をお届けします。また、雅楽では、古代、内教坊で女楽として上演されて後、夢まぼろしと化した「玉樹後庭花」を、文化勲章受章者の故芝 祐靖氏の復曲、及び女人舞楽原笙会により本年復元されたばかりの装束と舞でご披露いただきます。

会場ではご好評の人間国宝による伝統工芸作品の特別展示も企画しており、まさに藝能与工芸の饗宴をお楽しみいただけます。日本人にとっての「夢」を感じていただければ幸いです。

TAKUMI-Art du Japon 代表理事(元文化庁長官)

近藤誠一

狂言



撮影・佐々木美佳

雅楽

中・高・大生招待キャンペーン
抽選で中学生・高校生・大学生を特別価格でご招待

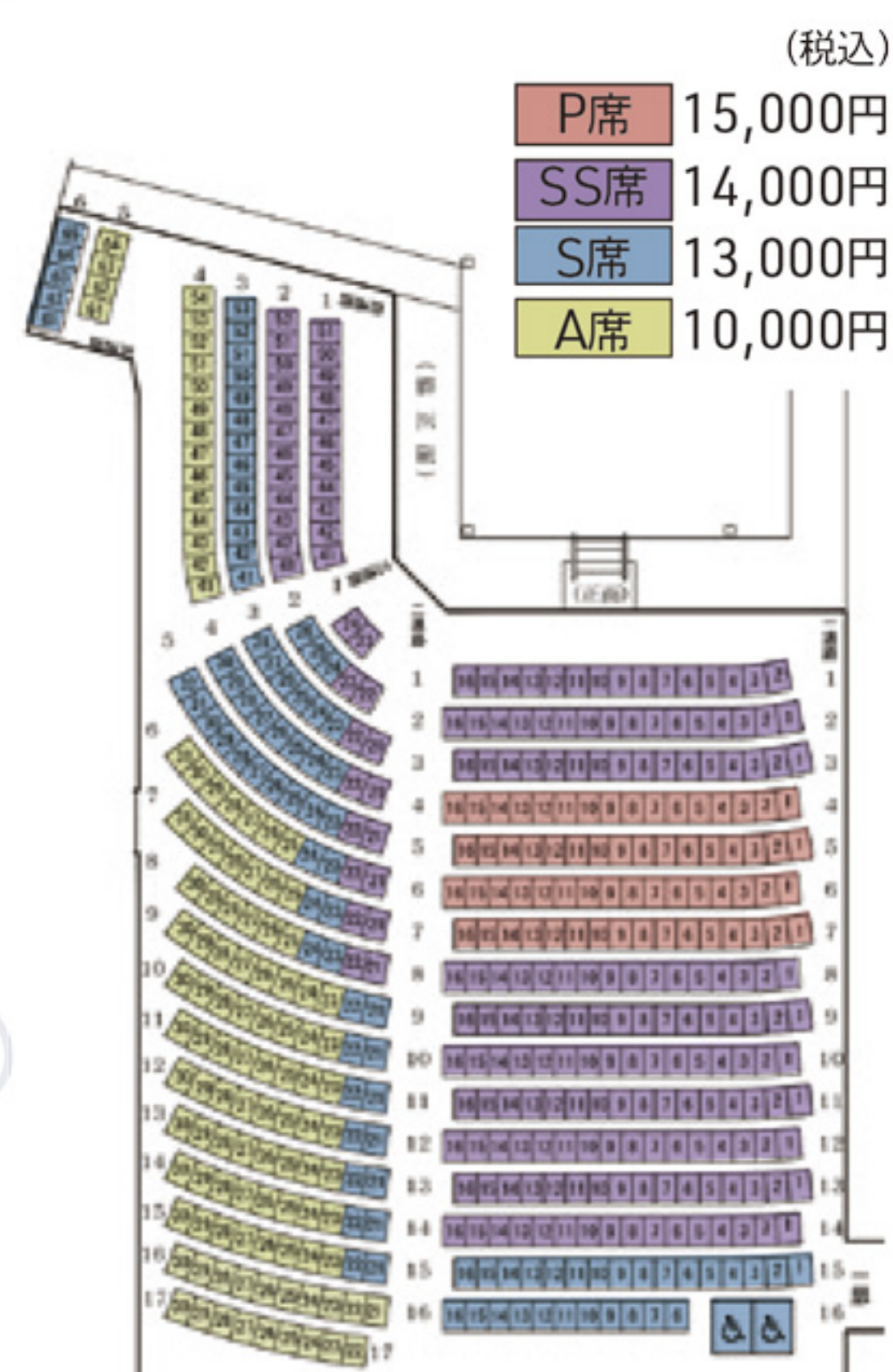
人間国宝作品の特別展示

実施予定



詳しくは、特設ページ「現代の匠たち 藝能与工芸の饗宴2025」
<https://takumi-art.jp/lp/takumi2025/> をご覧ください。

入場料 全席指定



※ 残席がある場合に限り当日券を会場にて販売します。
※ 車いす席をご希望の場合は主催者までご連絡ください。

チケット取り扱い

■ 観世能楽堂

[WEB] <https://kanze.net/>
[電話予約] 03-6274-6579
窓口販売も行っております



■ チケットぴあ

Pコード: 536005



<http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2526921>



お問い合わせ TAKUMI-Art du Japon TEL:090-5588-3110 Email:takumi.japon@gmail.com

主催:一般社団法人TAKUMI-Art du Japon 協力:公益社団法人日本工芸会 / 一般社団法人 茶道文化振興会 茶道会館